

会員だより

女性建設業者の活躍について

会員の皆様、こんにちは。
先日ある現場見学会のイベント情報があり、その内容が「女性技術者と行く!建設業しごと・みらい体験ツアー」と言うもので、なんとその募集対象が「女子中学生(保護者)」とあり、斬新なイベントだと感心した次第です。2014年より「けんせつ小町」と言う名の女性建設業者の活躍を推進する計画が全国的に始まっているようですが、県内でも2019年に「teamけんせつ美ら小町」と更にネームグレードの上昇した、県内女性建設業者による女性の入職促進や技術向上等目的とした活動が行われており、前記のイベントもその活動主催のもので、女性の発想力や行動力には頭が下がります。HPを見たところイベントは大成功に終わったようで、許可を頂きその活動写真を掲載します。

私自身日頃の現場管理において、働きやすい職場環境づくりを意識しているつもりでも、女性目線や若者目線で考えてみた時、安全管理はもちろんの事ですが仮設物等の職場環境についてもう少し工夫が必要だなと感じます。

國和建設 株式会社 代表取締役 野崎 真光

今後も女性を含め人材不足となっている将来の担い手確保と技術育成の為、働き方改革に精進して参ります。【工事部次長 福地 洸太】



▶説明を聞く中学生①



▶説明を聞く中学生②

会員だより

【若手の力】-ひと足先の先輩から-

会員の皆様、こんにちは。(株)小波津組の仲宗根です。

いま建設業界に抱える問題の一つに、人材不足があります。特に若年層の人材が不足しており、このため建設業界の将来を不安視する声があちらこちらから聞こえてきます。

建設業界で若手社員を増やし定着させ育成することが必要不可欠となってきます。建設業へのイメージ『(3K)きつい・汚い・危険』を払拭することが大切だと考えます。

弊社では、高校生へのインターンシップ制度を活用して、会社説明、施工管理の仕事内容などを理解してもらう為、直接現場で体験してもらっています。

その活動からの縁で、沖縄工業高等学校(土木科)を卒業し、4月より弊社に入社した新入社員を紹介します。彼は現在、「令和4年度浦添拡幅舗装(その2)工事」の業務に従事しており、朝礼の進行、現場内の安全管理、写真撮影などの作業を任せています。私と彼との出会いは、彼が高校2年生の時にきたインターンシップが初対面でした!仲間が増えることは嬉しいですね。

株式会社 小波津組 代表取締役 小波津 英慎

酷暑の中、国道58号線からの熱風、照り付ける日差しにも負けず、黙々と仕事をこなすのは、さすがヤングパワーです。

建設業に必要な「若手の力」をこれからも獲得し根付かせる活動を続けていきたいと思えます。【土木工事部 仲宗根 彩】



▼路盤工 施工管理②

▲路盤工 施工管理①



活動報告・トピックス

コンプライアンスに関する講習会

(一社)日本道路建設業協会沖縄支部の令和5年度コンプライアンスに関する講習会を8月22日、浦添市産業振興センター・結の街において19社35名参加で行いました。

冒頭、与那嶺支部長の代理として、下川幹事長は「公共の福祉の増進に寄与するために社会貢献活動等、様々な活動を行っているが、活動は社会に支えられている。その期待に応えるために、コンプライアンスの徹底強化に取り組む」と挨拶されました。

講習会の第1講義では沖縄労働局監督課平良喜作課長が「労働基準関係法令に係る留意事項について」と題し、

第2講義では沖縄労働局監督課比嘉聡子労働時間管理適正化指導員が「働き方改革(時間外労働の上限規制など)」についてと題し講義され、講習会終了後にはCPDS「4ユニット」受講証が交付されました。



▶下川幹事長挨拶



▶平良課長



▶比嘉指導員



▶講習会状況

第204回道路美化・清掃活動

残暑の中 頑張ってます!



8月15日(火)10:00から、道路美化・清掃活動を厳しい暑さの中、20名/15社の参加で無事終えることが出来ました。お疲れ様でした。

8月初め台風が襲来したせいか、いつもより多くの量のゴミが収穫出来ました。

今月の予定

- ①令和5年度舗装施工管理技術者技術講習会
9月15日(金)10:00~16:00 自治会館
- ②第205回道路美化・清掃活動
9月19日(火)10:00~11:30 明治橋周辺国道
- ③第3回技術・積算委員会
9月21日(木)11:00~13:00 支部会議室

道路愛護功労者表彰

(一社)日本道路建設業協会沖縄支部は8月21日、沖縄総合事務局において、令和5年度道路愛護功労者として日本道路協会会長より表彰されました。表彰式には、与那嶺支部長、下川幹事長が出席、河南次長より与那嶺支部長へ表彰状、記念品が授与されました。

平成18年より支部では那覇市の明治橋周辺の国道の道路美化・清掃活動を実施、平成28年には沖縄地方推進協議会会長表彰を、平成30年には国土交通大臣表彰を、今回で3度目の受賞となりました。「継続は力なり」を念頭に、これからも会員と協力しながら続けて行きます。



▶次長より支部長へ賞状授与



▶表彰状と記念品

編集室から/Y.S

『関東大震災から100年』

1923年(大正12年)9月1日午前11時58分、相模湾北西部を震源にM7.9の地震が発生。建物倒壊や火災のほか、津波や土砂災害もありました。死者・行方不明者は約10万5千人で、火災が死因の約9割を占めました。国は9月1日を「防災の日」として定めました。

関東大震災から100年という節目をきっかけに、いつ起こるか分からない災害への備えを日頃から進めていきたいと思います。

	関東大震災	阪神・淡路大震災	東日本大震災
発生年月日	1923年(大正12年)9月1日 土曜日 午前11時58分	1995年(平成7年)1月17日 火曜日 午前5時46分	2011年(平成23年)3月11日 金曜日 午後2時46分
地震規模	マグニチュード M7.9	マグニチュード M7.3	モーメントマグニチュード Mw9.0
直接死・行方不明	約10万5千人 (うち焼死 約9割)	約5,500人 (うち焼死 約7割)	約1万8千人 (うち焼死 約9割)
災害関連死	-	約900人	約3,800人
全壊・全焼住家	約29万棟	約11万棟	約12万棟
経済被害	約55億円	約9兆6千億円	約16兆9千億円
当時のGDP	約149億円	約522兆円	約497兆円
GDP比	約37%	約2%	約3%
当時の国家予算	約14億円	約73兆円	約92兆円